

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第8回西脇市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	令和2年2月18日（火） 午前10時00分～午前12時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター会議室2
出席委員の氏名又は人数	14人
欠席委員の氏名又は人数	1人
出席職員の職・氏名又は人数	4人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	4人
議題又は協議事項	1 西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	1 開会
事務局	○資料の確認  (以降の進行を会長に依頼)
会長	○会長あいさつ
事務局	○会議成立報告 委員数15名中、本日の出席委員数14名により、本日の会議が成立する旨を報告
	2 西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
事務局	○資料1、2、3に基づき、事務局から説明 基本目標1「未来をひらく『ひとづくり』の循環サイクルを構築します」

<p>会 長</p>	<p>まず、基本目標 1 「未来をひらく『ひとづくり』の循環サイクルを構築します」について事務局より説明があった。意見のある委員は発言いただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料 3 P 10 に取組例として「周産期医療体制の確保」との記載がある。丹波地域を含め、周辺の地域では分娩休止の病院が増加している状況であり、安全・安心な妊娠・出産環境を整えるためには、周産期医療体制の確保は非常に重要と考える。具体的にはどのような施策を予定しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現時点で具体的な施策があるわけではないが、西脇病院では医師の確保や系列の大学病院との連携を進めている。また、市内の個人病院でも当面の間は診療（分娩）を継続していただくと考えているが、今後は、広域として周産期医療体制を守っていかなければならないと考えている。</p>
<p>会 長</p>	<p>大変重要な視点と思う。特に今後は広域的な視点での取組が必要と考える。兵庫県内では、姫路市が核となって播磨圏域の活性化のために近隣市町と「連携中枢都市圏」を形成している。西脇市でも近隣市町と「定住自立圏」を形成しているが、周産期医療体制の確保についても、西脇市が中心となって取り組んでいくべきと思う。制度改正等が必要であれば、市町から国へ、積極的に働きかけると良いのではないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料 3 P 11 に「子育ての経済的負担を軽減します」との記載がある。西脇市では、中学 3 年生までの医療費の助成があるが、1 歳になると所得制限のために助成を受けられないことがある。</p> <p>子どもが病気にかかると、親が十分に働けなくなることが多いため、所得制限の対象年齢を引き上げるか、所得制限をなくすことはできないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>医療費については、各市町で少しずつ施策が異なっており、西脇市では所得制限を設けている状況である。他の自治体では、医療費を無償化していたところから、負担を求める方向に舵を切ったところもある。</p>

	<p>西脇市において、所得制限を撤廃した場合にどの程度の予算措置が必要となるかを試算したこともあるが、年間で3千万円超の費用負担となる。医療費の軽減については、悩ましいが、引き続き慎重に判断していきたい。</p>
会 長	<p>新たな財政負担が生じると、他の施策の廃止等にも影響するため、慎重な判断が必要である。</p>
事務局	<p>○資料1、2、3に基づき、事務局から説明 基本目標2「活力みなぎる『しごとづくり』に取り組めます」</p>
会 長	<p>基本目標2「活力みなぎる『しごとづくり』に取り組めます」について事務局より説明があった。意見のある委員は発言いただきたい。</p>
委 員	<p>資料3 P17では「西脇ファッション都市構想」について記載がある。これまでに、デザイナーの育成支援に取り組まれているが、現在流入しているデザイナーが、どの程度西脇市に定着するのか疑問に感じている。西脇市で技術やノウハウを得て、市外に流出してしまう可能性もあるのではないか。この施策は、育成したデザイナーに、西脇市で起業してもらえそうな施策になっているのか。</p>
事務局	<p>これまでに、20名余りのデザイナーを受け入れてきた。西脇ファッション都市構想では、それぞれがブランドを立ち上げ、独立し、多くの経済効果を生むことを期待している。デザイナーの呼び込みについては、一区切りとなる時期を迎えているが、育成したデザイナーが、今後市内で起業できるような体制づくり、支援に取り組んでいきたい。</p>
委 員	<p>デザイナーには、自身のブランドを持つタイプと、デザインした生地を、海外を含めた有名アパレルメーカーなどに、提案するタイプがある。</p> <p>前者は、ブランド名とともにデザイナーの名前を売ることができ、発信力に期待できる一方で、全体の生産数量が少ないため、経済効果は高くない。</p> <p>後者は、デザイナーの名前は出ないものの、産業としては一定のボリュームが期待できる。これまでは、アパレル</p>

<p>委員</p>	<p>メーカーがデザインした生地を受注して生地づくりをしていたが、現在は、生地のデザインから企画し、アパレルメーカーに提案している。そういった産地としての企画力を磨き、産地全体で発信していくことが大切だと考えている。</p> <p>同じく資料3 P17では、取組例として「播州織の最終製品の内製化の促進」とある。過去に縫製工場が廃業した経緯があるが、どの程度実現性があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>西脇ファッション都市構想で目指すゴールの1つが、メイド・イン・西脇である。国にも西脇ファッション都市構想の取組として交付金の申請をしているところであるが、縫製工場が市内に立地し、最終製品化を進めることなどで、播州織のブランド力を高めていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>縫製工場に何を求めるかが重要である。アパレル業界では、一定以上の生産が必要であり、その点では、海外の安価な生地と勝負ができない。一方、日本で縫製工場を行う場合、小ロットかつ高品質という点では勝負できると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3 P18では、「地域特性を生かした農業を振興します」とあり、西脇市では特産としてイチゴを売り出していると思う。最近、イチゴ農家が増え、飽和してきているのではないかとも感じるが、どのような計画でイチゴ農家を増やしているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>西脇市では、県下有数のイチゴ生産量を目指している。現在は、観光農園や北はりま旬菜館での販売をメインで行っている。一方、イチゴ狩りのバスツアーなどを断っている状況であり、まだ飽和していないと考えている。また、複数の観光農園等が立地している方が、イチゴの産地として発信力があると考えている。</p> <p>今後、イチゴ農家の飽和のタイミングを見極めるとともに、農家の育成から、6次産業化や流通の拡大などへ展開していくような可能性もあると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>現状は、飽和状態ではないと認識している。観光農園など、もう少し積極的な取組を実施した方がいいのではない</p>

	かと考えている。また、個々の農家の連携を強めていくことも課題の1つであると思っている。
委員	資料3 P17の取組例に「ふるさと納税の強化・推進」とあるが、特に播州織に関連するふるさと納税の状況をうかがいたい。
事務局	今年度は3億円を超える寄附をいただいた。昨年度までに比べると寄付額は増加しており、返礼品の品数を増やしたことが大きい要因であると考えている。 市内企業に協力をいただいて、播州織のストールやカッターシャツなどが返礼品となっており、寄付者の方にも好評いただいている。 西脇市では、地場産品を積極的に返礼品としており、地場産品の有効なPR機会と捉え、今後も取組を進めていきたいと考えている。
オブザーバー	少子高齢化が進行している中、多くの中小企業で後継者がいないために経営を継続できなくなる見込みである。事業承継については計画に記載すべきではないか。
事務局	事業承継も大きな課題であると認識しており、資料1 P43想定される主な取組8に「地域企業の経営継続の支援」として、事業承継について記載している。今週にも事業承継のセミナーを予定しているが、金融機関をはじめとした民間企業とも連携した取組が必要と考えている。
事務局	○資料1、2、3に基づき、事務局から説明 基本目標3「魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組めます」
会長	基本目標3「魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組めます」について事務局より説明があった。意見のある委員は発言いただきたい。
委員	資料3 P25に「デマンド型交通を導入します」とある。デマンド型交通が導入された場合、例えば西脇ロイヤルホテルの宿泊者も利用することができるのか。

事務局	デマンド型交通の利用は、月曜日から土曜日であり、事前の利用登録が必要である。利用要件等は今後の検討となる。
委員	最近が高齢ドライバーの事故等も増えており、高齢者の移動手段の確保という点でも、公共交通は重要と考える。一方、自動車の便利さに慣れた人間が、バス交通へ移行できるのかは疑問である。料金を安くする程度のインセンティブでは厳しいのではないか。
事務局	難しい問題であると認識している。県内でもデマンド型交通を導入している事例がいくつかあるため、先進事例も学びながら取組を進めていきたいと考えている。
会長	神戸市では、民間のバス会社が住民と共にバスの運行を検討している地域もある。また、海外では、「一度乗ってみたい」と思わせるバスのデザイン等が導入されている。先進事例を含め、様々な工夫が参考になると思う。
委員	国の規制もあるが、タクシーの配車アプリなどを用いたライドシェアの導入を検討してみてもいいのではないか。
委員	北播磨で外国人がとて増えていると感じている。西脇市でも増えているのではないか。外国人は、比較的SNSで多くの情報を発信しており、西脇市のプロモーションにもつながると考える。 北播磨全体で外国人に対する取組が必要ではないか。
会長	外国人は、地域にとっての重要性を加速度的に増していくと思う。一方、自治体では詳細なデータを把握していないことも多いと聞く。綿密な調査を実施し、状況を把握していくことが重要である。
事務局	西脇市でも外国人は増加しており、今後も一層増加していくと思われる。外国人に関する問題については、今後避けては通れないものと認識している。 なお、外国人労働者の受入れ環境の整備については資料1 P 32想定される主な取組7に、インバウンド観光の推進については資料1 P 49想定される主な取組2に、それぞれ

	<p>記載している。</p> <p>西脇市には、現在約 690人の外国籍の方が居住しているが、外国人労働者については、各受入企業に対応を任せており、必要があれば個別に対応している状況である。今後、近隣市の事例等を参考に検討していきたい。</p>
会 長	<p>先日、外国籍の方と自宅で食事をしたが、非常に親日であると感じた。わざわざ日本を選んで来てくれている方々であり、日本に馴染もうとされている。施策としてもベースをつくっていってほしい。</p>
会 長	<p>最後に、全体を通して順に発言いただきたい。</p>
委 員	<p>観光客が増えているように感じている。まちづくりを頑張っている成果ではないかと思う。娘から、大学の友人が西脇市のことを知っていたと聞き、嬉しく感じた。若い人にも西脇市の認知度が上がると嬉しい。</p>
委 員	<p>計画書には、多くの取組が記載されているが、具体的な事業に落とし込んでいくことは難しいと感じた。</p> <p>他の自治体では、組合で農地を管理しているところもあるが、西脇市ではどのような状況か。</p>
事務局	<p>農家の高齢化が進んでおり、今後、耕作できない農地が増えていくことが懸念されている。西脇市でも、農業の担い手を支援していくとともに、農業法人の設立や集落営農の取組を支援していく予定である。</p>
委 員	<p>西脇市に大型商業施設がないことは、やはり大きい問題だと考えている。商業施設の誘致の取組に期待している。</p> <p>住吉町は自然が豊かな場所であり、丹波篠山市にも隣接している。工場団地をつくり、住吉町の活性化が図られるといいと思う。</p> <p>西脇工業高校の駅伝は全国的に知名度が高く、西脇市を広く発信してくれるものと考えている。西脇市からより多くの補助金を拠出してほしい。</p>
事務局	<p>大規模商業施設については、少子高齢化が進行する中、非常に厳しい状況であるが、新庁舎の近くに商業機能を誘</p>

<p>委員</p>	<p>導したいと考えている。</p> <p>また、住吉町については、交通アクセスの点で不利な状況であり、産業用地としての活用は難しいと考えている。</p> <p>西脇工業高校については、市として、今後も様々な面からバックアップしていきたいと考えている。</p> <p>広報にしわきで、おめでたとおくやみの欄があるが、毎月その人数差に驚いている。掲載を希望されない人がいるのであれば、「ほか〇名」のように、人数だけでも載せていただくと、もう少し人数差がなくなるのではないかと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>広報への掲載を希望されない人も一定数おられるが、わずかであると思う。出生数は毎年減少しており、厳しい状況である。</p>
<p>委員</p>	<p>今後も少子高齢化が進行していくと思われる。希望的観測ではなく、最悪のシナリオで計画を立てる必要があるのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>西脇市には際立った何かがあるわけではないが、地域資源がたくさんあり、「ちょうどいい田舎」だと思っている。地域資源をいかに発信していくかが重要であると思う。</p> <p>これまでの取組で、「ひとづくり」や「ものづくり」は比較的うまくいっているように思う。一方、「観光」は弱いように思う。しかし、観光に注力するよりは、これまでの「ひとづくり」や「ものづくり」に加え、観光要素もあるといった位置付けくらいがいいのではないか。</p> <p>西脇市在住の外国人は、近隣市町に比べると多くないとのことであったが、事前に準備を進めることが大切だと思う。こういった言語の方がこういったところに住み、働いているのか、市が把握していると思う。地域のコミュニティの安全も含め、施策の検討を進めてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>今年は、オリンピック・パラリンピックが実施される年である。西脇市も、オーストラリア卓球チームのホストタウンとなっていることや、西脇市出身のプロ野球選手がオリンピックに出場する可能性があるほか、ワールドマスターズゲームズの開催も予定されている。このような中、ス</p>



	<p>ポーツをキーワードとした取組はチャンスであると考えている。多くのスポーツ選手は地元である西脇市に愛着を持っており、西脇市を発信する良い機会でもある。</p> <p>SNSで「北播磨の光」をテーマに写真を募集したところ、多くの応募があった。また、最近では新聞を購入する若者が減っているが、誕生日の新聞をプレゼントすると大変喜ばれる。このため、「しかけ」が重要であると考えている。また、スマートフォンをうまく活用した情報発信が大切であると思う。</p>
オブザーバー	<p>今年度は、空き家のリノベーションの取組に協賛というかたちで西脇市のまちづくりに参加させていただいた。事業を呼び込むためには新庁舎から人の流れをつくることが大切であると感じた。通常であれば、駅から市役所といった施設をつなぎ、人の流れをつくるが、西脇市では、旧商店街と市庁舎の間に商業施設をつくることできれば、人の流れを生むことができるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>限られた予算の中で、何を重点的な取組とするかは非常に難しい問題である。ぜひ、「西脇市の元気づくり」を目指してほしい。</p> <p>県民局でも、新設された酒蔵を拠点に、新規就農者の取組など、市と一緒に取組を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>人口の増減をみる限り、定住促進に特化した施策が必要だと感じている。</p> <p>国道 175号の整備が進み、南から北へと抜ける流れが生まれると思うが、国道 175号沿いには新庁舎も整備されるため、中心市街地にうまく人を呼び込んでほしい。</p>
委員	<p>これまでの施策もあり、良いまちであると思っている。基本目標 1 では、「出会いのパーティーの開催」といった内容もあったが、近所には未婚の若者が多く、彼らが結婚し、根付いてくれると嬉しく思う。</p> <p>日本酒の消費量が減少する中、新しい酒蔵ができることはとても嬉しく思っており、雇用が生まれることにも期待したい。市内のイベント等でも、ぜひ西脇産の日本酒を扱ってほしいと考えている。</p>

委 員	<p>西脇ファッション都市構想や酒蔵の新設という取組が紹介されたが、どちらも縮小しているマーケットに投資をしているため、他のパイを奪うくらいの覚悟を持って取組を進めていってほしい。</p> <p>前回の会議でも、観光やレジャーといった取組が重要ではないかとの意見を述べた。また、西脇ファッション都市構想を推進する中、播州織の服を市役所のドレスコードとするようなことが必要ではないか。</p>
委 員	<p>西脇市で生まれ育った子どもたちは、一度は西脇市から出ると思うが、また帰ってきてほしいと思う。そのためには、子どもたちが西脇市にどれだけ魅力を感じているかが重要である。子どもの視点での施策を充実させ、西脇市を盛り上げていてほしい。</p> <p>また、若者の活動支援の取組をもう少し積極的に実施してほしいと思う。</p>
会 長	<p>一度故郷を離れた人には3タイプ（望郷、帰郷、離郷）があるという分析をしたことがあるが、一度市外へと出て、様々な経験を積み、そして西脇市に帰ってくるような流れが生まれると良いと思う。</p> <p>冒頭、広域連携について議論があったが、全国の都市圏域分布データでは、西脇市が都市圏域の一つを形成している。都市圏域の核として、地域づくりの中心としての役割を西脇市に期待したい。</p>
事務局	<p>3 その他 ○今後の手続について事務局から説明</p>
事務局	<p>4 閉会 ○事務局あいさつ  (閉会)</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>